

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-341127

(43)公開日 平成11年(1999)12月10日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

識別記号

F I

H 0 4 M 1/02

H 0 4 M 1/02

C

H 0 4 B 1/38

H 0 4 B 1/38

H 0 4 Q 7/32

7/26

V

審査請求 未請求 請求項の数5 F D (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平10-156677

(22)出願日 平成10年(1998)5月21日

(71)出願人 592187006

タイヘイ化成株式会社

大阪府枚方市甲斐田町11番13号

(72)発明者 大平 真一

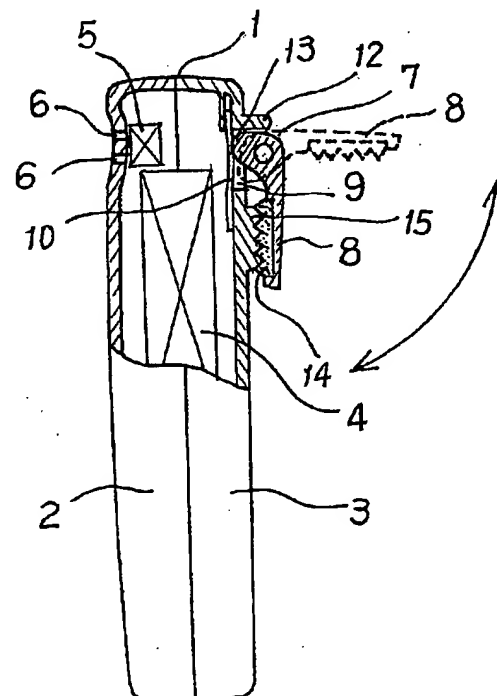
大阪府枚方市甲斐田町11番地13号

(54)【発明の名称】 携帯用通信機器

(57)【要約】

【目的】 本発明による携帯用通信機器は、持ち運びを行う際には、衣服などのポケット、バッグなどに本体ケースを収納し、この脱落を防止するための係止装置を設けて安定保持を行うものである。

【構成】 内部に通信機能装置を収納し、正面上部に音声の出口孔を設けた本体ケースの背面ケースの上部に係止装置を設けた構成の携帯用通信機器を提供する。



**【特許請求の範囲】**

【請求項 1】 内部に通信機能装置を収納し、正面上部に音声出口孔を設けた本体ケースと、該本体ケースの背面上部に設けた係止装置とより構成せる携帯用通信機器。

【請求項 2】 前記係止装置は、本体ケースの背面上部より下方に延びその先端を背面方向に弾性を附与させた係止片を備えてなる請求項 1 記載の携帯用通信機器。

【請求項 3】 前記係止装置は、取付面に接着剤を設け、該接着剤により本体ケースの背面に接着固定したことを特徴とする請求項 1 及び 2 記載の携帯用通信機器。

【請求項 4】 前記係止装置は、本体ケースの背面に着脱自在に設けてなる請求項 1 及び 2 記載の携帯用通信機器。

【請求項 5】 前記本体ケースの背面上部に、係止装置を設けるための位置決めを施してなる請求項 1 及び 2 記載の携帯用通信機器。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は、小型の携帯用電話機、ラジオ受信機等の携帯用通信機器に関するものであって、衣服或いは帽子等に係止して使用可能にしたものである。

**【0002】**

【従来の技術】 近年、携帯用の電話機、ラジオ受信機等の通信機器は、小型化、軽量化が進み本体をそのまま衣服のポケットに収納したり、カバン、ハンドバッグ類に入れて持ち運ぶする傾向にある。

【0003】 従来、電話機、ラジオ等の通信機器を携帯する場合には、専用のホルダーケースに収納し、衣服のポケットやハンドバッグなどに入れたり、或いは、ズボンのベルトに引っ掛けて保持されていた。この専用ホルダーは通信機器本体が抜け出さないように包み込む構成になっているが、専用ホルダーそのものが衣服或いはバッグに直接装着できない構成であった。

【0004】 一方、通信機器本体には、アクセサリを兼ねたストラップを取り付けたものがある。これには、衣服やハンドバッグに直接装着する治具が取り付けられておらず、単に紛失を防止する保持具が備わっているものであって、携帯して移動中にポケットから過って落下する危険性を取り除くものではなかった。

【0005】 従来の小型の携帯用通信機器の使用者は紛失や落下による破損などの防止策として長い紐或いはチェーンを用いて、衣服やハンドバッグに連結したり或いは収納場所を特定したりしているが、この携帯方法では受信時の応答に迅速性を損なう問題点があった。

**【0006】**

【課題を解決するための手段】 本発明は、上述の課題を解決するために次のような携帯用通信機器を提唱する。すなわち、内部に通信機能装置を収納し、正面上部に受話音等の音声出口孔を設けた本体ケースと、該本体ケー

スの背面上部に設けた係止装置とよりなる携帯用通信機器に関する。

【0007】 次に、前記係止装置は、本体ケースの背面上部より下方に延びその先端を背面方向に弾性を附与させた係止片を備えている。

【0008】 更に、前記係止装置は、取付面に接着剤を設け、該接着剤により本体ケースの背面に接着固定するものであって、本体ケースの背面上部には、係止装置を設けるための位置決めを施す構成を採用する。

【0009】 又、前記係止装置は、本体ケースの背面に着脱自在に設ける構成にしている。

**【0010】**

【作用】 本発明による携帯用通信機器を使用する場合には、通信機能装置を収納した本体ケースを、衣服などのポケットに音声出口孔を上部に位置するように配置して係止装置にて係止するものである。

【0011】 この係止装置は、弾性附与された係止片により、それ自身或いは本体ケースの背面との間にて衣服のポケット地を挟着して係着する。

【0012】 又、係止装置は、取付面の接着剤により本体ケースの任意位置に貼着し、場合によっては本体ケースに着脱自在として必要時のみ利用する。

**【0013】**

【実施例】 本発明を、その実施例ごとに図面により説明する。1 は、携帯用通信機器例えば携帯用小型電話機の本体ケースで、正面ケース 2 と背面ケース 3 により箱状体に形成されており、その内部に電話通信に必要な通信機能装置 4 及び音声発生装置 5 を収納している。該音声発生装置は正面ケース 2 の上部位置の内側にあって、この正面ケースの上部に設けた音声の出口孔 6 に対峙させている。更に又、正面ケース 2 には、携帯電話に必要な電源スイッチ部、電話機能の操作ボタン及び表示装置などを配設している。

【0014】 7 は、係止装置であって、背面ケース 3 の上部より下方に延びその先端を背面方向に弾性を附与させた係止片 8 を備えている。

【0015】 図 1 及び図 2 によれば、係止装置 7 は、背面ケース 3 に透孔 9 と、この透孔の内側に弾性板 10 と、透孔 9 の外側の両側に支持壁 11、11 と、同じく上側に係止片 8 の移動制止を行う当接壁 12 と、前記支持壁 11、11 に軸支された係止片 8 とより構成されており、該係止片 8 は基部 13 の曲成部分を前記弾性板 10 に圧接させ、先端部内側に弾性材 14 を設け、この弾性材と背面ケース 3 に設けた当り部 15 とを対設させて鋸歯状嵌合させている。係止片 8 は図 2 の矢印方向に夫々弾性附与されて移動し、当接壁 12 に当接して上限位置に制止される。

【0016】 図 3 によれば、係止装置 7 は、係止片 8 と基片 16 は金属或いは合成樹脂により一体に成型され図 3 の矢印方向にそれ自身により弾性附与されており、基

片16を背面ケース3に接着17して設けられる。

【0017】図4乃至図7によれば、係止装置7は、基板18と、この基板の一面方向に両側に対向して支持壁11、11と、同じく上側に当接壁12とを設け、更にその一面下部に当り部15と、他面全面に接着シート19を設けている。

【0018】20は、円弧状の弾性板であって、両辺には切欠21、21があつて、この切欠を前記支持壁11、11に嵌合係止し、上下端部を前記基板18に載架している。この実施例による係止装置7には、図1、2による前記実施例と同様な係止片8の基部を支持壁11、11に軸支してその基部13の曲成部分を弾性板20に圧接させている。同様に弾性材14を設けてその表面を弾性材14と鋸歯状嵌合を行うようにしている。

【0019】図8及び図9は他の実施例であつて、係止装置7は、基材18を縦方向の割溝21、21を設けて下方に開口させてその先端を遊端とした係合片22、22とその先端部を係止爪23、23を設けている。一方背面ケース3には縦方向に係合溝24、24を対向させた係合体25、25を設けて、前記係合片22、22に係合溝24、24に着脱自在に受容係止するようにしている。この実施例では、係止片8は支持壁11、11に軸支され、弾性板20に圧接している構成は前述と同じくしている。

【0020】図12による他の実施例では、背面ケース3には、このケースと一体に成型せる複数の突条26によって係止装置7の取付位置を特定している。この突条は四辺を囲繞して特定位置を設定している。

【0021】図13による他の実施例では、図14に示す2枚の板体27、27を対向させて軸着し、一方の先端対向部分を弾性圧接するようにしたクリップを係止装置7とし、この一方の板体27を背面ケース3の上部に接着固定している。

【0022】上記による実施例では、背面ケース3は図13の如くその下方に電池ケース28を保持しているが、この電池ケース28が背面上部まで延びて背面ケースを兼ねる場合も考えられるが、本発明の技術思想の範囲に属する。又、この板体27のうち他方は、係止辺8と同じ働きを行うことは言うまでもない。

【0023】上記実施例は、全て小型携帯用電話機をその対象として説明したが、小型ラジオ等の他の通信機器はその対象として実施できる。

【0024】

【発明効果】本発明によれば、内部に通信機能装置を収納し、正面上部に音声出口孔を設けた本体ケースとこの本体ケースの背面上部に設けた係止装置とより構成したので、この係止装置により衣服のポケットの上縁を挟着して係止することができ、携帯用通信機器をポケット内部に入れて安定して保持すると共に、ポケット内部への

出し入れが極めて簡便であり、誤って外部への脱落などを招くことはない。

【0025】又、係止装置はそれ自身の弾性力或いは、他の手段による弾性附与により、前述のようなポケットに収納状態をより一層安定に保持することができる。

【0026】更に又、係止装置は取付面の接着剤によりその取付作業を容易にし、取付を強固なものとすると共に、所定の取付位置によって、ポケット収容時正常位置を得ることができる。

【0027】加えて、係止装置は、本体ケースに対して着脱自在となるので、必要時のみ取り付けて使用できるので、不必要時は本体ケースの厚みのみで薄い状態で持ち運びを可能にする。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による携帯用通信機器の斜面図である。

【図2】図1の縦断側面図である。

【図3】本発明による他の実施例を備えた携帯用通信機器の断面図である。

【図4】本発明に用いる係止装置の斜面図である。

【図5】図4の側面図である。

【図6】図4の縦断面図である。

【図7】図4の分解斜面図である。

【図8】本発明による他の実施例を備えた携帯用通信機器の斜面図である。

【図9】図8の分解斜面図である。

【図10】本発明による他の実施例を示す携帯用通信機器の斜面図である。

【図11】図10の分解斜面図である。

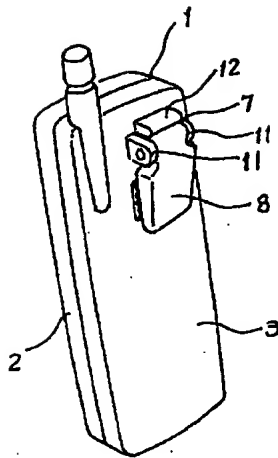
【図12】本発明の他の実施例を示す携帯用通信機器の斜面図である。

【図13】図12に用いる係止装置の斜面図である。

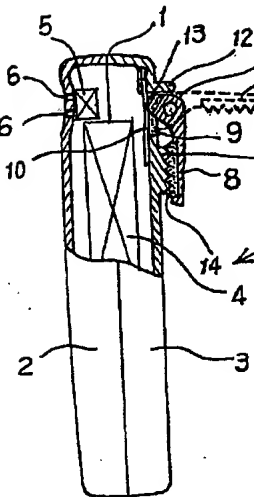
【符号の説明】

- 1 本体ケース
- 2 正面ケース
- 3 背面ケース
- 4 通信機能装置
- 5 音声発生装置
- 6 音声の出口孔
- 7 係止装置
- 8 係止片
- 9 透孔
- 10 弾性板
- 11、11 支持壁
- 13 基部
- 14 弾性材
- 15 当り部
- 19 接着シート
- 20 弾性板

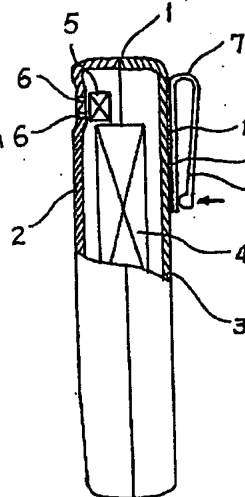
【図1】



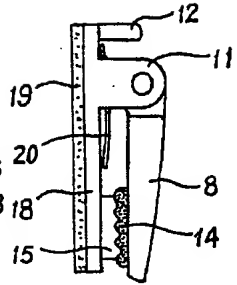
【図2】



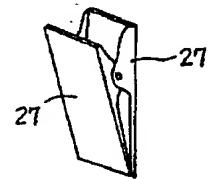
【図3】



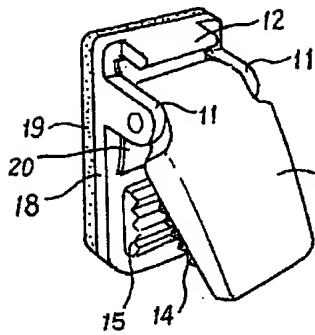
【図5】



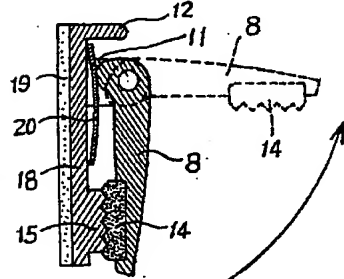
【図13】



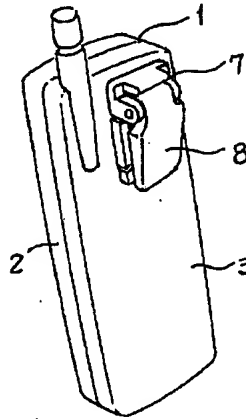
【図4】



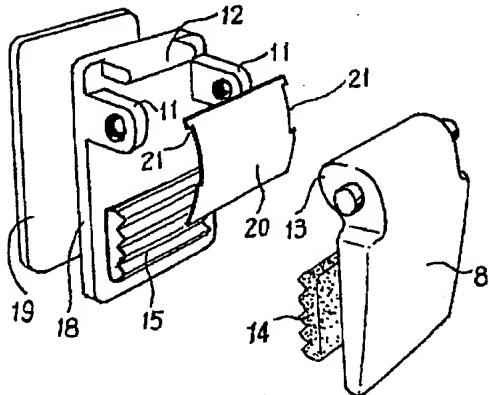
【図6】



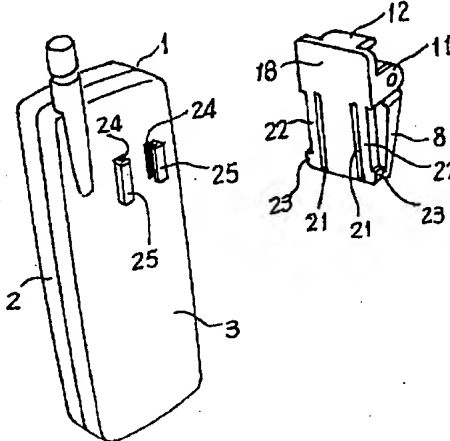
【図8】



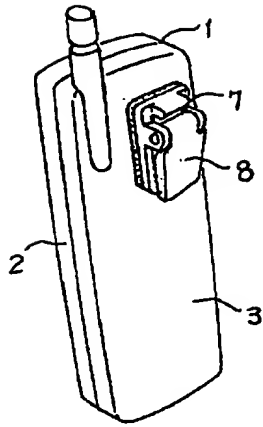
【図7】



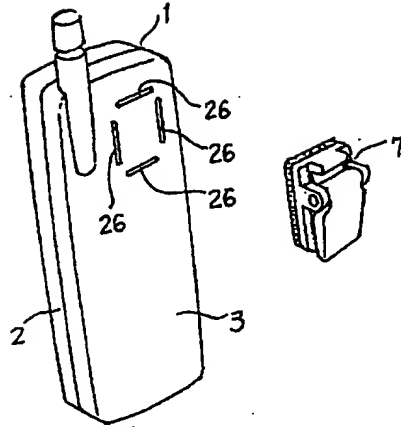
【図9】



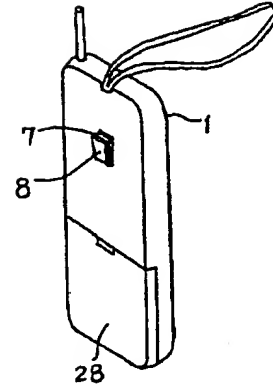
【図10】



【図11】



【図12】



## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-341127

(43)Date of publication of application : 10.12.1999

(51)Int.Cl.

H04M 1/02

H04B 1/38

H04Q 7/32

(21)Application number : 10-156677

(71)Applicant : TAIHEI KASEI KK

(22)Date of filing : 21.05.1998

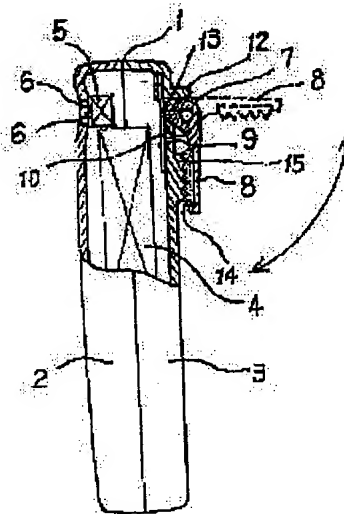
(72)Inventor : OHIRA SHINICHI

## (54) PORTABLE COMMUNICATION EQUIPMENT

## (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To easily put in and out of an inside of a pocket and to prevent a drop to outside or the like from being erroneously caused by accomodating a communication function device inside and providing a latch device to a rear side upper part of a body case with a sound exit hole provided to a front side upper part.

**SOLUTION:** A latch device 7 is composed of a transparent hole 9 on a rear side case 3, an elastic plate 10 inside this transparent hole 9, a supporting wall 11 on both sides outside of the transparent hole 9, an abutting wall 12 for restricting the movement of a latch piece 8 on an upper side and the latch piece 8 axially supported around a shaft fixed to the supporting wall 11. The latch piece 8 makes a curve part of its base part 13 brought into press contact with the elastic plate 10 and has an elastic material 14 inside of its tip part, this elastic material 14 and an opposite touch part 15 provided to the rear side case 3 are provided so as to face to each other and are made to be engaged in a saw-teeth-shape. The latch piece 8 moves in the arrow directions while elastically energized respectively. Press contacts the and is stopped at an upper limit position after brought into contact with the abutting wall 12. Thus, it is possible to chip an upper edge of a pocket of carrier's cloth, to latch and stably hold the communication function device.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision  
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

***This Page Blank (uspto)***